

令和4年度教育事業
全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」
「オリエンテーション合宿 in 能登」

全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」とは

国立青少年教育振興機構が令和2年度に新設した「全国高校生体験活動顕彰制度『地域探究プログラム』」は、高校生の体験活動を通じた成長を目指し、改訂された学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いて学習を深める制度である。取組みを段階的に分けており、ステップⅠ「地域探究トライアル」では「探究」の学びと実践を、そしてステップⅡ「地域探究アワード」では意欲の高い高校生向けに実践活動の顕彰を行う。

1 趣 旨

高校生が地域づくりや地域の課題解決などに関する体験活動を通して、問題発見・解決能力を身に付け、新たな価値を創造する人材育成に資するとともに、それぞれの実践活動の成果や自身の成長を適切に評価し、青少年の体験活動に関する社会的な認知を高める。

2 日 程 等

(1) 期 日 令和4年7月16日(土)～7月17日(日) 1泊2日
令和4年7月23日(土) 日帰り

(2) 参加者 石川県立松任高等学校 第3学年 1名
石川県立鶴来高等学校 第2学年 2名
石川工業高等専門学校 第1学年 1名
合計 4名

(3) 講師及び研修内容

① 講 師

[講話「持続可能な取組みを考える」]

崎田 智之 氏 羽咋市 総務部 地域振興室 室長



[FW①・②]

森川 みなこ 氏 社会福祉法人弘和会 たきの一ほ一む風和里(ふわり)
羽咋事業部長兼管理者



[ガイダンス、講義・演習①～④、発表①②]

田中 久年 (国立能登青少年交流の家企画指導専門職)、
他 (国立能登青少年交流の家職員)

② 研修内容（カリキュラム）

分野	No.	科目名	月/日	時間	探究のプロセス	主な活動内容	活動場所
導入	1	ガイダンス	7/16	10:00-10:50	-	地域探究プログラムの内容・スケジュール等の確認。	交流の家大研修室
	2	講話 「地域づくりの実践」	7/16	10:50-12:00	-	「地域づくりの実践」の講話を聴き、今後の活動に向けて意欲を高める。	交流の家大研修室
	3	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」	7/16	13:20-15:50	-	フィールドワークを通して、地域づくりに関する取組についての活動を体験し、その魅力を発見する。	たきのーほーむ風和里
	4	講義・演習① 「地域理解」	7/16	16:30-18:00	-	情報マップ作りを通して、FW①の調査内容の全体像を把握する。	交流の家大研修室
探究のプロセスの実践	5	講義・演習② 「課題解決の基礎」	7/16	19:00-21:30	課題の設定	FW先の問題点を明らかにし、その解決策や質問を考える。	交流の家大研修室
	6	フィールドワーク② 「地域課題の探究」	7/17	9:20-11:50	情報の収集	講師との意見交換や別の取組の調査を通して、より有効な解決策を考える。	たきのーほーむ風和里
	7	講義・演習③ 「地域課題の探究」	7/17	13:00-16:00	整理・分析、まとめ	調査内容や問題点の解決策をポスターに整理し、まとめる。	交流の家大研修室
	8	発表①	7/17	16:00-16:45	表現	作成したポスターを用いて、ポスターセッションを行う。	交流の家大研修室
地域課題の取組	9	講義・演習④ 「行動計画の基礎」	7/23	9:15-14:00 昼食含む	課題の設定	実践活動での行動計画を作成する。	交流の家第7研修室
	10	発表②	7/23	14:00-15:00	-	今後の実践活動の行動計画を発表する。	交流の家第7研修室
	11	実践活動のためのガイダンス	7/23	15:00-15:50	-	実践活動上の安全管理や社会のルール・マナーを理解する。	交流の家第7研修室

③ FW 概要

たきのーほーむ風和里（講師：森川氏 福祉系）

地域の高齢者福祉や介護の現状や課題について、福祉施設職員や利用者、地域の高齢者等との交流を通して調べ、地域の課題とその改善に向けた取組を探究する。

3 成果と課題

本事業に参加した4名の生徒から、今回のオリエンテーション合宿での学びについての振り返りをしてもらった。

(1) FWでの学びについて（生徒の記述より一部抜粋）

たきのーほーむ風和里（福祉系）

- ・高齢者の生活を制限して健康を維持させるよりも、高齢者の自由を尊重させることが大切だと学んだ。また、高齢者の家族だけでなく、医者や地域と連携することも大事だと学んだ。
- ・認知症は脳の細胞がゆっくり死んでいく「変性疾患」と呼ばれる病気でもあり、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりするため、様々な障害を起こし、生活をする上で支障が出てしまうことを学べたので、おじいちゃんやおばあちゃんと会話するときに、ゆっくりはきはきした言葉で会話したい。



【高齢者へのインタビュー】

(2) 生徒のオリエンテーション合宿の学びにおける成果と課題（生徒より聞き取り）

① 成果

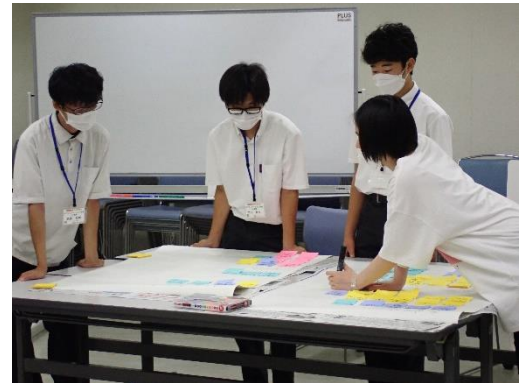
- ・石川に暮らす若者として、地域の課題に関心がある。オリエンテーション合宿で地域の問題を発見し解決することを通して、自分の進路選択に役立つよい経験ができた。
- ・情報マップ作りでは、情報と情報をつなげて視野を広げたり、考えを深めたりすることができた。
- ・色々な人の意見を聞くことで自分では考え付かない考えを出すことができ、普段の授業では学べない経験ができた。



【発表・質疑応答】

② 課題

- ・突飛な意見、新たな意見を出すのが苦手。
- ・積極的な質問や会話があまりできていなかったと感じた。質問を考える時間がもっと欲しかった。
- ・問題の解決策を考える時には、より具体的なアイデアを出せるようにしたい。
- ・発表の時、緊張して聞いている人の方を見て話すことがあまりできなかった。



【情報マップ作り】

(3) 運営面における成果と課題

① 成果

- ・1泊2日の宿泊型で課題に向き合うこととなり、集中して取り組むことができた。時間がたくさんあるようだったが短く感じた。
- ・事業に対する満足度は100%となった。

② 課題

- ・参加者が少なく多様な意見が出にくかった。課題発見・解決についても広がりやがもう少し欲しかった。